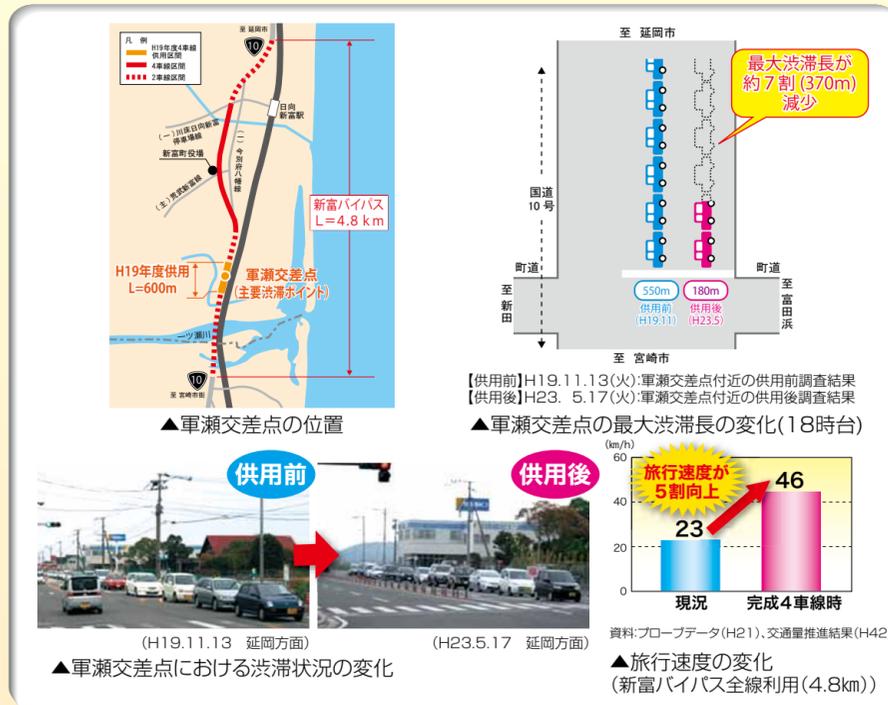


整備効果

効果1

交通混雑の緩和

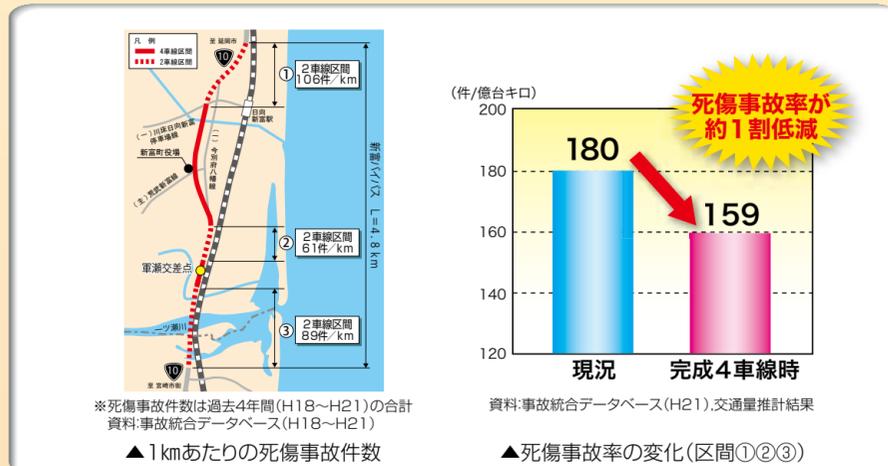
平成19年度に軍瀬交差点の改良を含めたL=0.6kmの4車線化が完了し、延岡市方面から宮崎市方面の夕方の最大渋滞長が550mから180mへ減少し、渋滞緩和が図られています。今後、全線が4車線化することで、旅行速度が約5割向上し、更なる交通混雑の緩和が図られます。



効果2

交通安全の確保

2車線区間の1kmあたりの死傷事故件数は、4車線区間に比べ約2倍となっています。新富バイパスが全線4車線化すると、死傷事故率が約1割低減する試算となり、交通安全性の向上が期待されます。



新富バイパスができるまで

地元説明会等を行い、地域のみなさまのご意見を積極的に取り入れて、道路事業を行っています。住民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

事業の進め方

- 1 原案作成**
地元説明会等を行って、地元のみなさんの意見を取り入れます。
- 2 事業の計画説明**
地元の皆様へ事業の説明をします。
- 3 測量・地質調査**
事業予定地及びその周辺の地質や地形の状況を把握します。
- 4 事業の設計**
設計案を作成します。
- 5 設計協議**
事業予定地の形状、事業内容について地元の皆様と話し合い計画の内容を固めていきます。
- 6 用地測量と物件調査**
用地中杭を設置し、用地を測量し、補償物件の調査をします。
- 7 用地協議**
用地買収及び補償の内容について、地権者の皆様と相談します。
- 8 調印と登記手続き**
- 9 工事説明**
工事中にご迷惑をおかけしないように工事のすすめ方、工事途中の交通処理や事業予定地周辺への影響について説明します。
- 10 工事の着手**
工事中の相談等についても現場の担当者がお聞きします。
- 11 工事の完了**
- 12 維持・管理**
みなさんに安全・快適にご利用いただけるように、施設の維持や管理をしています。

現在の日向大橋

現在の日向大橋は、橋長561m、幅員7.4m(3連のローゼ橋+鉸桁で構成)、二級河川一ツ瀬川に架かる橋梁です。ようやく洪水の時でも流出しない永久橋ができたということで、完成時にはマラソン大会やのど自慢大会、花火大会が催され花火大会は現在でも「サマーフェスティバル一ツ瀬」として受け継がれています。また、新富町の富田小学校では3連のローゼ部が「一ツ瀬川の虹の橋」と校歌に唱われるなど地域のシンボルとなっています。



現在の日向大橋

(昭和25年9月 大洲橋、福島橋 流出)
昭和26年8月15日 起工式
昭和29年3月31日 完成
昭和56~57年度 補強工事
昭和58~62年度 床版打換工事
平成19年度 耐震補強

国土交通省 九州地方整備局
宮崎河川国道事務所

〒880-8523 宮崎市大工2丁目39番地 TEL.0985-24-8221
ホームページアドレス ▶ <http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>
E-Mail ▶ miyazaki@qsr.mlit.go.jp

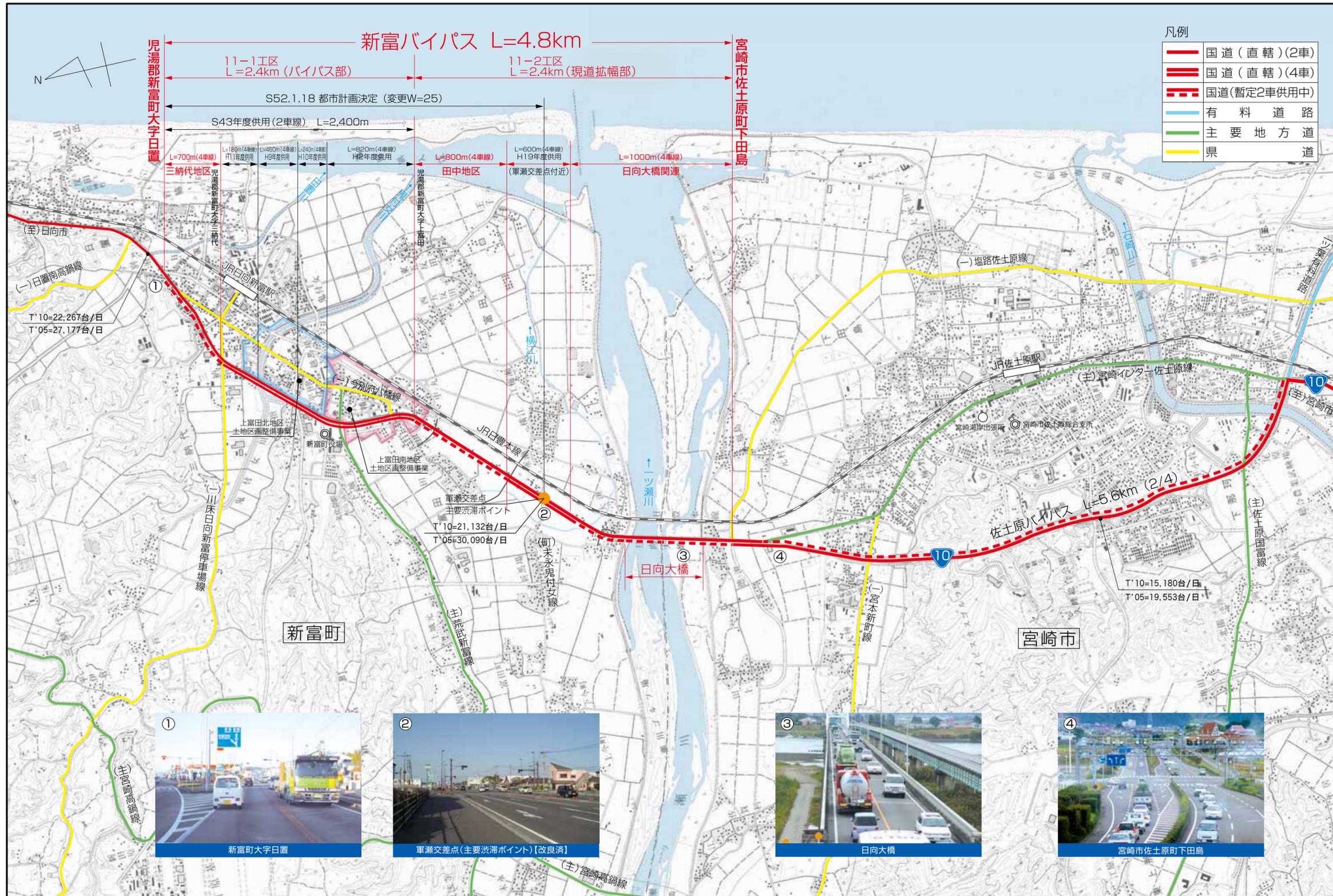
国道10号 新富バイパス



美しく 住みよい 宮崎づくり



国土交通省 九州地方整備局
宮崎河川国道事務所



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平23九復、第204号)」

新富バイパスの概要

国道10号は、北九州市を起点に大分市を經由し、宮崎市から鹿児島市に至る全長約450kmの重要な幹線道路であり、九州地方で最も長い国道となります。宮崎県内においても、産業が盛んな県北地域と県都宮崎市を結ぶ主要幹線道路であるとともに、新富町を含む周辺地域から宮崎市への通勤通学に利用されているものの、平日の朝夕の時間帯には交通が集中することから、交通渋滞が発生し、沿道住民の生活に支障をきたしています。

国道10号新富バイパスは、交通が集中している新富町市街地から宮崎市佐土原町にかけて4車線化の整備をすることで、交通混雑の緩和や交通安全の確保等を図る事業です。

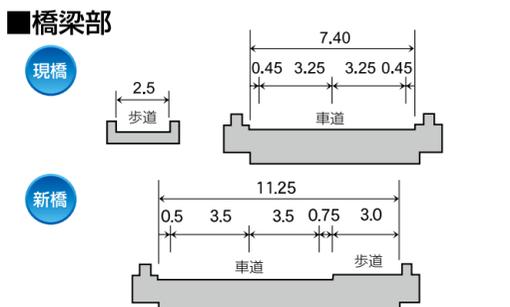
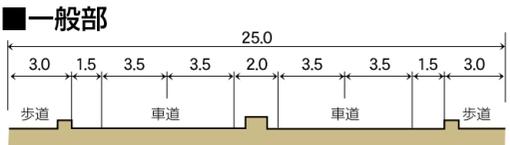
事業経緯

11-1工区バイパス部(L=2.4km)	昭和 41年度	事業化
	昭和 41年度	用地着手
	昭和 41年度	工事着手
	昭和 43年度	2車線供用(L=2.4km)
	昭和 52年1月18日	都市計画決定(W=25m、4車線)
	平成 2年度	4車線供用(L=0.82km)
	平成 9年度	4車線供用(L=0.46km)
	平成 10年度	4車線供用(L=0.24km)
	平成 11年度	4車線供用(L=0.16km)
11-2工区現道拡幅部(L=2.4km)	昭和 52年1月18日	都市計画決定(W=25m、4車線)※軍瀬交差点まで
	平成 8年度	事業延伸
	平成 15年度	用地着手
	平成 18年度	工事着手
	平成 19年度	4車線供用(L=0.6km)

計画諸元

路線名	国道10号	
計画区間	起点:児湯郡新富町大字日置 終点:宮崎市佐土原町下田島	
	11-1工区 [バイパス部]	11-2工区 [現道拡幅部]
延長	2.4km	2.4km
道路規格	第4種第1級	第3種第1級
車線数	4車線	4車線
道路幅員	25m	25m

標準断面図



当面は、現橋(2車線)を活用しながら、上部部に新橋(2車線)を架橋することにより、4車線化を図ります。